



東京ミッドタウン・デザインハブ
〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1
ミッドタウン・タワー5F

Tokyo Midtown Design Hub
5th floor, Midtown Tower,
9-7-1 Akasaka, Minato-ku,
Tokyo Japan 107-6205

TEL 03-6743-3776
Fax 03-6743-3775
<https://designhub.jp/>
info@designhub.jp

2021年12月9日
東京ミッドタウン・デザインハブ

東京ミッドタウン・デザインハブ第95回企画展

「ゼミ展2022」

ゼミの課題、学生の作品を通じてデザイン教育の学びを垣間見る

東京ミッドタウン・デザインハブ（東京都港区/構成機関：公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、多摩美術大学 TUB）は、東京ミッドタウン・デザインハブ第95回企画展「ゼミ展2022」を2022年1月10日（月・祝）から2月15日（火）まで開催します。

いまや、デザインは社会をよりよくするための手段としてあらゆる領域で求められる時代になりました。美大やデザイン専門学校以外でもデザインを学べる教育機関は多く存在し、各校で工夫をこらした学びへの挑戦が行われています。

「ゼミ展」では、デザインを教育・研究する各地の教育機関7校の協力のもと、近い将来、さまざまな領域で社会の最前線に立つであろう学生たちが、今どのようにデザインを学んでいるのかを、各校（各ゼミ）で行われている課題と学生作品を通してご紹介します。出展ゼミならではのデザインへのアプローチや学生の視点とともに、コロナ禍に見舞われたこの2年の間に取り組まれたテーマや、新しい学びの手法にも注目してください。



メインビジュアル（デザイン：廣村正彰）

東京ミッドタウン・デザインハブ 第95回企画展「ゼミ展2022」

会期：2022年1月10日（月・祝）～2月15日（火）11:00-19:00 会期中無休・入場無料

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ（東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F）

主催：東京ミッドタウン・デザインハブ（構成機関：公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、多摩美術大学 TUB）

ウェブサイト：<https://designhub.jp/exhibitions/7283/>

※状況により、スケジュールや課題紹介の内容に変更が生じる場合があります。

ゼミ展2022 出展校一覧（順不同）

公立はこだて未来大学、女子美術大学、多摩美術大学、東京都立大学、富山大学、名古屋造形大学、武蔵野美術大学

一般からのお問い合わせ先：東京ミッドタウン・デザインハブ（代表/日本デザイン振興会）

電話 03-6743-3776 E-mail info@designhub.jp

■出展校一覧



公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 岡本誠研究室

担当教員：岡本 誠

課題内容：知覚デザイン Perception Design

ゼミ紹介：未来大学は、デザイン・情報科学・認知心理学等の学問を基盤に、情報社会を支える実験的な研究・教育を行っている。当研究室では、情報科学や認知心理学の研究室と協働して、知覚をデザインするテーマに挑戦し、実験的なプロジェクトを進めている。



公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 安井重哉研究室

担当教員：安井重哉

卒業研究：触覚を活用して遊ぶ実体物ゲームの制作と評価

ゼミ紹介：1. 「その人」のためのUI/UX=何かの当事者である「その人」のためのUX(User Experience)とそれを実現するためのUI(User Interface)の設計を行う。2. Interaction Elements=何らかのUIの基礎となる要素技術の発案と設計を行う。ヒトの知覚特性に基づき、環境とインタラクションを行うための新たな概念の「記号」の体系を創出する。



女子美術大学 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻

担当教員：粟辻美早/澁谷克彦/林 規章/松山智一/白村玲子

課題内容：SPEED FLAT/未来のものづくりを考えるデザインプロジェクト

ゼミ紹介：デザインの基礎・造形理論・美の本質を理解し、グラフィックによるデザインを中心に関連分野の幅広いスキルを学んでいる。本プロジェクトは、藤原大氏が提唱する「SPEED FLAT」の考え方に共感、賛同した学生が学年を問わずに集まり、毎年異なるテーマに対しそれぞれの視点から制作をしている。



多摩美術大学 環境デザイン学科 3年 第3課題 建築コース

担当教員：松澤 穰/小西厚夫

課題内容：ロッドチェア

ゼミ紹介：私たちは、「建築」「住まい」「インテリア」「家具」「公園」「都市」などをデザインする「アーキテクト」であり、デザインされたこれらを「空間」と呼ぶ。この「空間」が、アーキテクトの手を離れ、人々の手に渡り、生活の一部となって、時には風雨にさらされながら時間を経て、初めて「環境」になると考えている。



東京都立大学 ヴィジュアルコミュニケーションデザインスタジオ

担当教員：菊竹 雪

研究プロジェクト：3Dグラフィックを考える

ゼミ紹介：グラフィックデザインの可能性を具体的に社会に提案することに取り組んでいる。特に、渋谷駅前エリアで工事現場の仮囲いを使ったデザイン提案や大型ビジョン・モーショングラフィックなどを制作し、また、他学科ロボット工学分野の研究室と連携し国際特許取得を目指した新たな研究にも取り組んでいる。



富山大学 芸術文化学部 萩野紀一郎研究室

担当教員：萩野紀一郎/上原雄史/横山天心/大氏正嗣/藪谷祐介

課題内容：シェルター（学部2年）、手で考えて身体でつくる（学部4年）

ゼミ紹介：「手で考えて身体でつくる」をモットーに、建築デザイン・建築再生・インテリアを、原寸大で、実際のフィールドで、土、木、茅などの地域の自然素材に触れて、実際につくることから学ぶことを試みている。



名古屋造形大学 情報表現領域 インターフェースデザインゼミ

担当教員：外山貴彦

課題内容：映像表現を用いたコンテンツの制作

ゼミ紹介：産学協同プロジェクトを中心に社会や地域と接点を持った活動を行っている。コンテンツ開発では、映像やメディア技術を組み合わせた新たな表現の創出・制作・研究に取り組んでいる。

■出展校一覧



名古屋造形大学 情報表現領域 インタラクティブ・メディアゼミ

担当教員：ペルティエ ジャン=マルク

課題内容：現実空間に基づいたゲームデザイン

ゼミ紹介：社会に深く浸透しつつあるデジタルゲームの形式と技術を通して、現実世界に根付いたコンテンツ制作の可能性を探っている。ゲームの娯楽性を否定せずに、現実空間と人の営みの記録や再解釈を試みて、インタラクティブ・メディアならではの表現性を研究している。



武蔵野美術大学 産学プロジェクト

担当教員：稲田真一/井口博美/長谷川敦士/山崎和彦/若杉浩一

課題内容：造形学部工芸工業デザイン学科産学プロジェクト、造形構想学部クリエイティブイノベーション学科産学プロジェクト

ゼミ紹介：造形学部工芸工業デザイン学科は、人を軸にした生活環境やプロダクトをデザインする中でさまざまな企業と連携した授業を実施。2019年に開設した造形構想学部クリエイティブイノベーション学科では、「実社会における学び」を重要視し産学プロジェクト実践演習が必修科目となっている。